様式２

学校名（　川西市立川西北小学校　）

実施日：２月１７日	
領　域：④総合的な学習の時間	
取組名：非行防止教室	
対　象：４年	実施場所：多目的室
ア　ねらい ・　インターネットの危険性を学び、自分の人権を守る力をつける。 ・　最新の検挙・被害事例などを学習し、今後使っていくＳＮＳなどの書き込みなど他の人の人権を考えた言葉・話ができるようにする。	
イ　指導内容（指導略案）や取組の概要 ・　インターネットやスマホ、ＳＮＳなどがこれから身近に使えるようになるなかで、初めに危険性を知るうえで使用できるようにする。 ・　「子どもたちが利用しているＳＮＳの実態」や「偽サイトにかかる詐欺事案」などに基づき分かりやすく解説し、被害防止の対応能力を身につける。 ・　外部講師で現役の警察官の方にお話ししていただくことで、より緊張感を得るようにする。	
ウ　連携先：川西市教育委員会　兵庫県警察サイバー犯罪対策課	
エ　連携にむけての取組 事前に市教育委員会と連絡を取り、兵庫県警察サイバー犯罪対策課との打合せを行った。	
オ　組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 講演後のインターネット社会に関する授業に生かし、これから生きていく中で便利なネット社会でうまく生きていくことを考える授業を行う。	
カ　評価の方法 「ネット社会で起こる問題を知ることができたか。」「ＳＮＳなどが人権侵害を招く恐れがあることを認識できたか」をこれから行っていく。 ネット社会のルールや便利さを学ぶ授業の中で把握できているか。	
キ　成果 ネット社会に潜む危険性を知ることができる。	
ク　課題 ・　実際にまだ携帯を所持していない児童への対応。 ・　保護者のネットモラルへの危機感を感じていただき、フィルタリングであったり制限をかけてもらえるような呼びかけを検討する。	